

難聴は認知症のリスク 補聴器で生活の質改善へ

第2回市議会で
質問しました

補聴器の助成増額求める 市「現時点では考えていない」



日本共産党
よっちゃん通信
2026 7/15 284号

難聴があるとコミュニケーションがうまくとれず、耳から入る情報が減ったり、外出を控えたり、意欲が低下したりなどで、認知症のリスクがあると指摘されました。難聴者の割合は、70歳代男性で5人に1人、女性で10人に1人です。

補聴器で知識力低下抑制

補聴器を使用している人は中等度の難聴がある場合でも「知識力」の低下が抑制されています。生活の質の向上と尊厳ある人生を送る事ができるよう、聞こえの充実はますます重要です。

えっ！10万円 買えないわ

先日、補助を受け購入しようとした方が、耳鼻科に来ている販売店の人から10万円台の補聴器を紹介され、高くてあきらめて

鳥のさえずりが聞こえた！

補聴器をつけ、鳥のさえずりが聞こえました。狛江ってこんなにも鳥がさえずっていたんだと感動しました。



しました。

助成額4万円を8万円に引き上げて、都の半額補助があるので、市の負担増はわずか136万円です。私、宮坂良子は8万円への引き上げを求めました。

市「近況を注視していく」

市は「近隣市の助成状況等を踏まえ、上限額を設定しました。補助上限額の見直しは、現時点では考えていませんが、今後も都の動向や近隣市の状況等を注視してまいります」と答弁しました。

14万4千円助成の港区アンケート…：役立っている91%

港区は非課税世帯に、14万4千円の補助を行い、毎年アンケートで利用者の状況を調査しています。▽聞こえの改善では、とても役立っている67%、時々役立っている人を加えると91%にも達しています。

▽改善の実感では、家族や友人等での会話33%、テレビの視聴や電話での通話30%、グループ等比較的大人数での会話22%と応えています。